

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E119P008		小学校教材研究 (Teaching Materials of Elementary School Education)															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修(R2 以降入学生) ・必修(H31以 前入学生)	2	3	教育学部			氏名 松田聡 / 田中修二, 廣瀬剛, 村上佑介 / 川田菜穂子, 財津庸子, 都甲由紀子 / 玉江和義 E-mail matsat@oita-u.ac.jp / tnkshj@oita-u.ac.jp, hirotake@oita-u.ac.jp / kawata@oita-u.											
授業の概要	音楽、図画工作、家庭、体育の4教科につき、各教科に対する授業実践力を向上させるために、小学校の教科書掲載の教材などを具体的に取り上げて検討し、それぞれの教材を扱うための知識・技能を確かなものとして、教育実習(初等)につなげる。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	4教科それぞれの教材のあり方の特徴を説明できる。																
目標2	教科ごとの特性に応じた教材研究ができる。																
目標3	それぞれの教材にふさわしい授業の工夫ができる。																
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 授業ガイダンス																	
2 音楽(1):表現領域(1):音楽づくり																	
3 音楽(2):表現領域(2):歌唱																	
4 音楽(3):鑑賞領域																	
5 図画工作(1):表現領域(1):平面																	
6 図画工作(2):表現領域(2):立体																	
7 図画工作(3):鑑賞領域																	
8 発展的研究(1):芸術に関わる教材開発																	
9 家庭(1):分野横断的な教材の研究																	
10 家庭(2):グループによる教材の検討																	
11 家庭(3):発表・相互評価の手法																	
12 体育(1):体育授業のための教材開発(1)(体育授業の教材:立脚点と考え方)																	
13 体育(2):体育授業のための教材開発(2)(体育授業の教材:実践)																	
14 体育(3):体育授業のための教材開発(3)(保健授業の教材)																	
15 発展的研究(2):健康・生活に関わる教材開発																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	毎回、ワークシートへ記入させるなどして、学生の理解度を確かめる。					工夫 その 他の	Moodleの活用(フォーラム等)									
	B:意見の表現・交換	グループワークや発表・相互評価を行う。															
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	授業担当教員の指示に従い、次回の準備をすること(15h)。															
	事後 学修	小学校教科書の該当ページ等を参照し、各回の内容を振り返ること(15)。															
教科書	各教科の教科書(具体的には初回ガイダンスの際に説明する)																
参考書	『小学校学習指導要領』『小学校学習指導要領解説』文部科学省(平成29年告示)具体的には初回ガイダンスの際に説明する)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	授業への参加意欲・態度	40%															
	レポート等	60%															
	「レポート等」の出題の仕方は教科により異なるので、必ず各教科の授業時の説明を確認すること。																
注意事項	初回到授業に関する基本的な説明をするので、受講予定者は必ず出席すること。																
備考	なし																
リンク																	
	URL																

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の 実務 経験	都甲由紀子（高等学校情報科教諭） 村上佑介（特別支援学校教諭【美術】、高等学校教諭【美術】）
実務経験を いかした 教育内容	高等学校情報科教諭としてプレゼンテーション実習を担当した経験を活かして、情報機器を扱って課題を設定し、実習をする。